

	書名	作者名	出版社	内容紹介
1	そういう生き物	春見 朔子	集英社	薬剤師の千景とスナック勤めのまゆ子。10年ぶりに再会した二人は、思いかけず一緒に暮らし始める高校の同級生である二人が心に秘めた過去とは？
2	あしたも、こはるびより。	つばた英子/ つばたしゅういち	主婦と生活社	83歳と89歳の菜園生活。愛知県のニュータウンで、夫婦ふたり。キッチンガーデンで野菜を育て、換気扇のないワンルームの丸太小屋で暮らす。
3	ファミレス	重松清	日本経済新聞出版社	妻と別居中の雑誌編集長・一博と息子がいる妻と再婚した総菜屋の康文は幼なじみ。コメディタッチで描き出した最新長編。
4	ファミレス<上>	重松清	KADOKAWA	中学校教師の宮本陽平は、子供たちが家を出て、妻・美代子との初めての二人暮らしに困惑中。
5	ファミレス<下>	重松清	KADOKAWA	中学校教師の宮本陽平が見つけた離婚届には、妻・美代子の署名が入っていた。人生の滋味が詰まったおいしい物語。
6	おばちゃんたちのいるところ	松田 青子	中央公論新社	追い詰められた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌脱ぎにやってくる。
7	お師匠さま、整いました！	泉ゆたか	講談社	亡き夫の跡を継ぎ寺子屋の師匠をしている桃。ある日身寄りを亡くした春が訪れてから寺子屋ライフは一変。騒がしい毎日が始まった。
8	狩人の悪夢	有栖川 有栖	KADOKAWA	臨床犯罪学者・火村英生と相棒のミステリー作家アリスが、悪夢のような事件の謎を解き明かす。
9	再発！それでもわたしは山に登る	田部井 淳子	文藝春秋	人生が終わるその時まで、人と山を愛した世界初の女性エレベスト登頂者、がん闘病と登山の記録。
10	片翼の折鶴	浅ノ宮 遼	東京創元社	脳外科の最初の講義、見慣れない初老の講師は「ある患者の脳の病変が消えた。その理由を説明しなさい」と唐突に言い放つ。学生たちは数々の推論を重ねていくが一向に正解にたどりつけない。しかし、たった一人西丸豊けが、その意外な真相を導き出す。
11	自由なサメと人間たちの夢	渡辺 優	集英社	2015年の小説すばる新人賞作家による、注目の受賞後第一作。
12	月のぼどう	寺地 はるな	ポプラ社	26歳になっても逃げるばかり考えている歩。突然の母の死をきっかけに、双子の姉・光実とともに実家のワイナリーを継ぐ決意をするが……。やさしい涙がこみあげる感動の物語。
13	素敵な日本人	東野 圭吾	光文社	たとえば、毎日寝る前に一遍。ゆっくり、読んで下さい。豊饒で多彩な短編ミステリーが、日常の倦怠をほぐします。意外性と機知に富み、四季折々の風物を織り込んだ、極上の九編。
14	駒姫	武内 涼	新潮社	文禄四年の盛夏。最上義光の娘・駒姫は、関白秀次の側室となるため聚楽亭に入った。しかし、その後、秀次は、謀叛の罪で切腹。囚われの身となった駒姫と侍女・おこちゃ、残された秀次の妻子には想像を絶する運命が待ち受けていた。
15	井上ひさしから、娘へ	井上 ひさし	文藝春秋	父から娘へ、そして次代へ。タウン誌上で5年にわたって交わされた往復書簡。没後7年、初の単行本化。
16	ホリデー・イン	坂本 司	文藝春秋	元ヤンキーの大和と小学生の息子・進の期間限定親子生活を描いた「ホリデー」シリーズ。
17	失敗の本質 一	戸部 良	中央公論新社	大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。
18	下剋上受験	桜井 信一	産経新聞出版	目指せ桜蔭！昼はガテン系仕事、夜は娘と猛勉強、そして朝まで娘のための予習・・・わが子に全てを捧げた父親の壮絶記録。中学受験人気NO.1著者の書き下ろし。

生徒諸君・先生方・各教科など、皆様の図書購入リクエストをお待ちしています。図書購入リクエストは司書室まで！

	書名	作者名	出版社	内容紹介
19	ジョブズ 100の言葉	堀江貴文	宝島社	2011年に惜しむらくもその生涯を閉じたアップルの創業者スティーブ・ジョブズ。困難を克服し、逆境に負けなかったジョブズの生き方に学び、混迷をきわめる現代社会を生き抜くためのヒントが得られる自己啓発書。
20	回帰—警視庁強行犯係 樋口 顕	今野 敏	幻冬舎	四谷にある大学の門近くで自動車の爆発事故が起こった。死者と怪我人を出したこの爆発は、やがて「爆弾」によるものだったことが判明する。宗教テロが疑われる中、警視庁刑事部捜査一課の樋口顕は情報収集に動き出すが、・・・。
21	合理的にあり得ない	柚月 裕子	講談社	元弁護士の上水流涼子は、明晰な頭脳と美貌を武器に、「あり得ない」依頼を解決するが、・・・。
22	ガーディアン	薬丸 岳	講談社	「ともに楽しい学校生活を築いていきましょう」スマホや SNS が普及し、教師は生徒の悩みを把握しきれない。いじめ、不登校、夜間徘徊、荒れていた中学校は、匿名生徒による自警団「ガーディアン」によって落ち着いた。
23	不発弾	相場 英雄	新潮社	大手電機企業・三田電機が発表した巨額の「不適切会計」。警視庁捜査二課の小堀秀明は、事件の背後に一人の金融コンサルタントの存在を掴む。
24	東京クルージング	伊集院 静	角川書店	愛した君は何処へ、伊集院静の出会いと別れが凝縮した、奇跡の物語。
25	さよならの力	伊集院 静	講談社	去りゆくものに微笑みを。切ない思いも悲しみも、やがては消える。季節は移ろい、そして新しい人とまた出逢う。
26	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	サンマーク出版	お願いします。あの日に戻らせてください。「ここにすれば、過去に戻れるってほんとうですか？
27	i (アイ)	西 加奈子	ポプラ社	直木賞受賞作「サラバ！」から2年、作家・西加奈子が問い続けてきたこと。「アイ」とは何か。
28	1984年のUWF	柳澤 健	文藝春秋	佐山聡、藤原喜明、前田日明、高田延彦。プロレスラーもファンも、プロレスが世間から八百長とみなされることへのコンプレックスを抱いていた。UWFの全貌がついに明らかになる。
29	ミッドナイト・ジャーナル	本城 雅人	講談社	「起きろ、朝だ」—— 速報性はネットに、臨場感はテレビに劣る新聞。時代に取り残された記者たちは、何のためにネタを追うのか。
30	彼女がエスパーだったころ	宮内 悠介	講談社	進化を、科学を、未来を—— 人間を疑え！ 科学では捉えきれない「超常現象」を通して、人間は「再発見」された。
31	眩 (くらら)	朝井 まかて	新潮社	北斎の娘にして「江戸のレンブラント」天才女絵師・葛飾応為の知られざる生涯。
32	赤へ	井上 荒野	祥伝社	ふいに思い知る、すぐそこにあることに。時に静かに、時に声高に一。直木賞作家が描く「死」を巡る十の物語。
33	魔女は真昼に夢を織る	松本 祐子	聖学院大学出版会	物語世界に表象された(魔法)をめぐる論考とコラム。
34	ポピュリズムとは何か	水島 治郎	中央公論新社	いま世界中でポピュリズムが猛威を振るっています。「大衆迎合主義」とも訳され、民主主義を蝕む悪しき存在と見なされがちなポピュリズム。しかし、ラテンアメリカでは少数のエリートによる支配から人民を開放する力となりました。

生徒諸君・先生方・各教科など、皆様の図書購入リクエストをお待ちしています。図書購入リクエストは司書室まで！